

市民活動支援センターは、社会に貢献しようとする市民、市民活動団体を応援します

上尾市市民活動支援センター情報誌



むすびん

平成26年
7月
第13号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号

TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

上尾駅前市民塾が今年で3年目を迎えます！！

平成24年からスタートした「上尾駅前市民塾」が今年で3年目を迎えます。市民が講師、市民が生徒、会場は駅前。“だれでも気軽に参加できる”をモットーに開設しています。講座では、市内の市民活動団体が得意分野を市民の皆さんにわかりやすく解説します。



◇市民活動団体と上尾市が協働運営しています。

上尾駅前市民塾は、「上尾地区ビジネスキャリア・エンジョイサークル」、「上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議」、「ふるさと学園校友会」、「地域活動推進の会」の4つの市民活動団体と上尾市が協働で運営しています。



【上尾駅前市民塾運営委員会のメンバー】

◇市民塾の講座・講師は公募しています。

講座、講師は市内の市民活動団体から公募しています。運営委員会は、講座の選定、募集の方法など様々なテーマについて話し合い、決定しています。また、チラシの作成、印刷、配布などの作業も分担して行い、市民の皆さんに身近で役に立つ情報を提供できるように市民活動団体をサポートしています。



【上尾駅前市民塾 講座の様子】

◇市民塾は市民活動の“発表の場”

市民塾は、自分たちの活動をもっと多くの人に知ってもらいたい、と感じている市民活動団体の発表の場です。団体の得意分野を市民塾で発表、アピールすることで、市民に関心をもってもらえたり、活動の幅が広がったりします。市民活動をより発展させたいとお考えの団体は、ぜひご活用下さい。

上尾駅前市民塾 第2期講座

9月 暮らしの中でいけばなを楽しもう

10月 変わりゆく日本語

11月 やさしいてん刻入門

■各月第1土曜日午後2時～4時まで

上尾市市民活動支援センター会議室

7月27日(日曜日)まで応募受付中

平成26年度 協働のまちづくり推進事業 3団体採択

協働のまちづくりの規範となる事業を採択して実施する「上尾市協働のまちづくり推進事業」の今年度事業が決まりました。

7団体から応募があり、第1次選考の書類審査を通過した3団体が、平成26年6月24日(火)にコミュニティセンターで、公開プレゼンテーションに臨みました。選考委員会の審査により、次の3団体の提案が選ばれました(提案順)。



No	団体名	事業の名称	所管課
1	仮認定特定非営利活動法人 ふれあいねっと	親子パラソルカフェ	健康増進課
	親子の触れ合いと交流を通して子どもの健全な成長と母親の孤立化を防止する		
2	特定非営利活動法人 障がい児者芸術クラブ	第13回「ひだまりの小さな書作展」 & 相田ひろきの世界 30th Anniversary 展	障害福祉課
	知的な障害のある子どもたちの作品展を開催する		
3	不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会	ひきこもっている若者への支援	子ども・若者 相談センター
	若者の力を生かす働き方に繋がる援助のシステムを考える		

採択団体は7月から来年2月までの間、市との協働で事業を実施し、来年3月に事業の報告会を予定しています。

予告

今年の「公開講座」は 団体の活力アップを目指し、リーダー養成講座を実施します！

平成22年度から毎年開催している市民活動支援センターの「公開講座」、今年度のテーマは「市民活動パワーアップ講座」～市民活動のリーダー養成講座～の予定です。

- 日 程 11月22日(土)、11月29日(土) 午後1時30分～4時30分
- 場 所 上尾市文化センター 301号室
- 定 員 50名

団体を運営していく牽引者のためのポイントやノウハウを色々な角度からお伝えします。

受講申し込み等の詳細は、「広報あげお」10月号などでお知らせします。





上尾の豊かな自然を守り育てる

NPO法人 荒川の自然を守る会

荒川の周辺や上尾市内に残る自然を守り残す活動をしている「NPO法人 荒川の自然を守る会」が保全管理する「三ツ又沼ビオトープ」周辺は、雑木林、湿地帯など日本固有の自然環境を残し、希少種を含めた多くの動植物が生息しています。

取材に訪れた5月14日は、浦和高等学園の環境保全実習が行われ、5月とは思えぬ暑さの中、



約60人の生徒が外来植物の抜き取りに汗を流しました。作業後、広場でしの竹を使ってパンを焼き、周辺で採れた桑の実で作ったジャムをぬって味わいました。

又、同会は市内6か所で「花いっぱい里山再生プロジェクト」を展開中。苗木の植樹、外来植物の除草、在来植物の種まき、育成を行っています。

環境保全には人手を要する作業が多く、代表の菅間宏子さんは、「会員だけでなく学校や企業、地域の団体や市民と連携して活動しています。自然は子ども達に引き継ぐ大切な財産。自然観察など自然と親しむ体験もできるので、より多くの市民の皆さんに参加してほしい」と話していました。

NPO法人 荒川の自然を守る会

代表者：菅間 宏子さん

連絡先：090(9641)5288

参加者募集中!!

異文化との出会いの場づくりを

上尾国際交流会 (A I F A)

昨年創立25周年をむかえた国際交流会は、異文化理解と共生を目指し、外国籍の市民との交流や勉強会などの活動を行っています。

その入り口ともなるよう、会話によるコミュニケーション力の向上を目的として、創設以来、語学講座を続けてきました。近隣在住の外国人を講師に招いて、市内コミュニティセンターや市民活動支援センターで7クラス80余名が受講しています。



さらに異文化理解を深める場としてAIFAコミュニティサロンを運営し、語学講座のイギリス人講師による母国の家庭料理教室や、長期に海外生活を経験した日本人主婦による講演会など、身近で関心が持てるテーマで勉強会を企画開催しています。

会員の細野光子さんは「長年続いている会の活動は、国籍の枠を越えてたくさんの方々の協力に支えられています。外国籍の市民や地域住人同士が、多様な考え方や価値観に触れ、それを互いに認め合うことのできる多文化共生・異文化の理解・国際交流に関心のある方は、ぜひ活動に参加してください」と話していました。

上尾国際交流会 (A I F A) 会長：土屋正彦さん

メール：aifa1988ageo@yahoo.co.jp

ホームページ：http://aifa1988-ageo.life.coccan.jp

異文化交流に興味のある方、お手伝い募集中!!



ポイント解説 Q&A

Q. 市民活動推進計画とは？

A. 上尾市市民活動推進計画は、社会の多様化・複雑化の中で、行政中心の公共サービス提供だけでは限界があるという指摘があり、一方で市民の社会貢献活動が活発になった社会の動きを受け、市民と行政が協働することでより豊かな生活やまちづくりに結び付くようにとの願いを込めて、平成21年度にまとめられました。

計画では、将来都市像として「みんなの思いと力をひとつに結ぶ 協働のまち あげお」と定め、市が推進する目標として3点をあげました。

- ① 市民活動団体の広報支援、
- ② 市民と行政の情報共有、
- ③ 協働のための組織・活動支援

また、その達成のために、

- ① 職員の意識改革と政策形成能力の向上、
- ② 協働推進のための機関の設置、
- ③ 市民活動支援センターの整備にも取り組むとしました。

この計画は、平成25年度までに達成するようにと期限を決められていたので、5年後の現在、どれだけ取り組めたのか調査を始めました。その結果によって、今後の計画を見直していくことも必要です。次回から、その進捗状況を見ていきましょう。

イベント ボランティア掲示板

紙芝居 やぎさん一座 上尾駅自由通路で公演

子どもからお年寄りまで楽しめる手づくり紙芝居の公演です。

◇日時：平成26年9月28日(日)
午後2時～3時

◇場所：上尾駅自由通路
(西口エスカレーター付近)

◇問合せ先：八木さん＝048-771-1583



■「第6回ボランティアフェスティバル」■ を開催します！

◇日時：平成26年8月23日(土)
午前9時30分～午後3時30分

◇場所：上尾市コミュニティセンター

◇内容：ボランティア団体の活動紹介コーナー
ボランティア体験コーナー、ミニ体験講座他
ホールイベント

午前…「上方落語」露の新治

午後…MUSIC PLAYERS「おかわり団」の音楽交流会

◇問合せ先：上尾市社会福祉協議会

ボランティア係

電話 048-773-7155

編集後記

◆支援センターも開設して5年目に入りました。みなさんのご協力ですべての事業も公開講座、協働事業、市民塾、地域デビューと拡大して一同大忙し。雨の日も猛暑の日もこつこつ積み重ねるみなさんの活動に学びたい。
(善) (明) (枝)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!!

◎編集・発行 **上尾市市民活動支援センター**



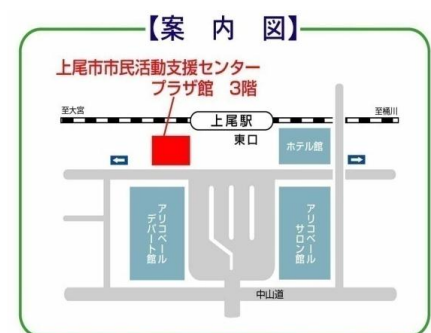
開館日：火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時)まで

休館日：毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話：048(778)1810 FAX:048(778)1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>



情報誌タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつけたいという思いを込めています。